

1 課題研究の授業日程（課題研究の年間時間数は豊総を入れて33時間で設定しています。）

	内容	日時（5・6組）	日時（7・8・9組）	実施場所・備考欄	
活動①	課題研究ガイダンス	4/16（月）7限	4/20（金）6限	実施済み	
活動②	研究班・研究テーマ決め	4/27（金）6限	4/27（金）6限	多目的教室・武道場	
活動③	研究計画書の作成①	5/2（水）6限	5/9（水）5限	理科棟4階	
活動④	指導担当打ち合わせ	5/9（水）6限	5/11（金）6限	活動③後、担当の先生方に指導する班を割り振り	
活動⑤	研究計画書の修正	1学期中間考査後～西祭前			
活動⑥	研究活動1（予備実験）				
活動⑦	研究活動2	西祭後～期末考査前		実験室	進行具合が遅い班は保護者会の午後も活動
活動⑧	研究活動3			実験室	
活動⑨	研究活動4			実験室	
活動⑩	研究活動5			実験室	
活動⑪	研究活動6			実験室	
活動⑫	研究活動7	期末考査後～夏休み前		実験室	
活動⑬	研究活動8			実験室	
活動⑭	研究活動9まとめ			実験室	
活動⑮	研究活動10まとめ			教室・実験室	
活動⑯	ポスター作成			PC室・教室	
活動⑰～⑱	SSH人生講演会			7/17（火）5限～7限	市民文化会館
活動⑳	ポスター完成	夏休み後～成果発表会まで		PC室 教室	
活動㉑	発表ポスター修正			PC室	
活動㉒	発表練習要旨作成			PC室	
活動㉓	ポスターセッション	9/21（金）5限、6限		鴻志館	
活動㉔	ポスターセッション			鴻志館	
活動㉕～㉖	SSH発表会	9/25（火）4限～7限	市民文化会館		
活動㉗	片付け・事後指導	成果発表会後～2学期中間考査前		HR教室・実験室	

※1学期中間考査以降の詳細な日程については、貴田から教務の時間割係に案を提出して依頼する。

2 研究班決めの方法について（活動②で実施）

理型5クラスで、研究班が50班程度になるように班編制を行う

(1) 4月27日（金）までに以下の内容を各クラスで行う。

- ① クラスに生徒名と研究テーマおよび研究分野のリストを掲示
- ② 各クラスで研究分野が同じ、興味分野が同じ生徒同士で2人ペアまたは3人グループを作る

(2) 4月27日（金）当日の活動

- ① 研究分野ごとに(1)②で決めたペア・グループを集めて、可能であれば別のクラスのペア・グループと合併して4～5人研究班にする活動を5、6組、7～9組でそれぞれ行う。
- ② 各研究班で、班員の春課題で提出した研究テーマを発表し合い、班の研究テーマを決定する。決められなかった場合は活動③で決定する。

3 担当の先生の割り振りについて

- (1) 教員1人あたり、5つ程度の研究班の指導を行う。
- (2) すべての研究班のテーマが決定したのち、理科教員以外の教員が担当を希望したいテーマを選ぶ。（活動③後に実施）
- (3) 残った研究テーマを理科教員で分担する。
- (4) 理科教員は指導分担の班以外についても、専門的な助言を行い全体のサポートを行う。

4 時間割変更について

今年度の年間の理科課題研究の時間数は5、6組が24時間、7～9組が26時間の予定です（4月18日時点の状態で、教務が曜日変更を行った場合はこの限りではない）。考査を横断した時間割変更を貴田が教務に依頼する予定。4月から9月にかけて、本来の時間割以上に必要となる時間数を主に理科（物理・化学）から貸し出して、10月以降に貸し出した授業時間を返却してもらう方法で計画しています。

5 研究活動（実験）の時間について

昨年度の3年の課題研究の研究活動はすべて、2限連続で実施したが、今年度については研究活動の始めの時期は1時間で実施して、研究活動3あたりから2限連続の活動としていく予定です。

6 成果発表会における課題研究の発表について

- (1) 各研究班はポスター発表・口頭発表のどちらかを行う。
- (2) 発表は3年生については、Microsoft WordまたはPowerPoint を使って作成を行う。
- (3) 口頭発表については、研究の中から優れた内容を選び、夏休み前に該当の研究テーマを決定して、研究班員に告知する。夏休み期間中から、スライドの作成の指導を開始できるようにする。
- (4) 9月21日（金）のポスターセッションでは、口頭発表についてもリハーサルを実施する。

7 評価について

以下の4点について、生徒の自己評価および教員が指導を担当する研究班の評価を行う。評価方法はルーブリックを使って実施する。活動②から活動㉔の指導案の中で、ルーブリックを示します。

- ① 研究計画書の作成
- ② 研究活動
- ③ ポスターおよび口頭発表のスライド
- ④ 発表

参考：活動②から活動④のルーブリック

	よい 3	ふつう 2	もうすこし 1	メモ欄（教員使用欄）	教員 評価	自己 評価
テーマ設定・仮説	研究の目的が独創的かつ適切で、具体的に優れた仮説を立てている。	研究の目的が分かりやすく適切で、自分なりの仮説を立てている。	研究の目的が現象や事実の確認になっており、仮説の構成が十分とは言えない。	・研究の目的 A・B・C ・仮説の妥当性 A・B・C		
研究計画	手順・方法・必要な材料・器具が具体的に分かりやすく示されており、与えられた期間内で成果が期待できる計画である。	手順・方法・必要な材料・器具が具体的に示されており、与えられた期間内で仮説を検証するのに適切な計画である。	手順・方法・必要な材料・器具が十分に示されておらず、与えられた期間内で仮説を検証することが難しい。	・計画の具体性 A・B・C ・研究期間 A・B・C ・安全性 A・B・C		